

令和4年度 自己評価

松山歯科衛生士専門学校

学校法人松山ビジネスカレッジ

令和4年11月4日

自己評価の実施について

(1) 学校法人松山ビジネスカレッジについて

松山デザイナー専門学校（旧 松山女学院専門学校、松山デザイン専門学校、専門学校松山ビジネスカレッジ クリエイティブ校）、専門学校松山ビジネスカレッジビジネス校（旧 松山コンピュータ専門学校、松山情報ビジネス専門学校）及び松山歯科衛生士専門学校は、松山市中心部に位置し、学校法人松山ビジネスカレッジが経営する専修学校である。昭和 21（1946）年 3 月、「松山洋裁女学院」として創立され、現在専門学校 3 校、6 学科を設置し、15,000 人余の卒業生を世に送り出してきた 76 年の歴史と伝統のある専門学校である。

(2) 松山歯科衛生士専門学校 自己評価の実施概要

自己評価は、理事長以下常務理事、校長、管理本部長、進路指導部長、管理本部次長、副校長、学科長を責任者とし、関係する全ての教職員による評価を反映できるよう実施し、経営陣及び全ての教職員は、法人・学校として目指すべき重点課題を再認識し、その達成状況や達成に向けた取り組みの適切さ等を自ら評価した。

なお、自己評価表の作成については「専修学校における学校評価ガイドライン」を参考に、10 の項目について「1（不適切）～4（適切）」の 4 段階評価で行った。

(3) 自己評価の成果

経営陣は、自己評価の結果を受けて、組織的に重点的に取り組むべきことは何かを把握し、その改善に取り組むことで、組織的・継続的に学校運営を改善することの重要性を示すことができた。

上記を受けて、関係する全ての教職員一人ひとりが、教育の質を担保し、学生がより良い学校生活を送れるよう、学校運営の改善と発展を目指し、不断の努力を積み重ねている。

また、当該評価の成果物である、本報告書を公表することで、安定的・持続的な経営に資する一層の効果が発揮されている。

(4) 自己評価の公表方法及び期間

本自己評価の公表方法は、松山ビジネスカレッジのホームページにその全文を掲載することで公表する。公表期間は、翌年度実施の自己評価の公表の前日までとする。

なお、諸般の事情により翌年度の自己評価が実施できない、あるいは公表できない場合は、ホームページ掲載から 1 年を経過した時点を、公表の終期とする。

(1)教育理念・目標

回答者	評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
学校	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか。 (専門分野の特性が明確になっているか)	④ 3 2 1
学校	学校における職業教育の特色は何か	④ 3 2 1
学校	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④ 3 2 1
学校	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に 周知されているか	④ 3 2 1

【課題】

①学校の理念・人材育成像とそれに必要な教育内容の周知

【今後の改善方策】

①令和3年度は、入学前研修や保護者説明会において、学生と保護者に対して学校の理念・人材育成像、教育内容等の周知・説明を強化することができた。令和4年度から新カリキュラムが始動していることから、今後も更なる理解と協力が得られるよう、周知を徹底していく。

【特記事項】

(2) 学校運営

回答者	評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
管理本部	目的等に沿った運営方針が策定されているか	④ 3 2 1
管理本部	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④ 3 2 1
管理本部	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④ 3 2 1
管理本部	人事、給与に関する規程等は整備されているか	④ 3 2 1
管理本部	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4 ③ 2 1
管理本部	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④ 3 2 1
管理本部	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④ 3 2 1
管理本部	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4 ③ 2 1

【課題】

- ①当法人の運営方針に沿った事業(募集)計画の実施・検証態勢
- ②教職員の目標管理と育成
- ③情報システム化等による業務の効率化

【今後の改善方策】

- ①事業(募集)計画の達成に向けて、Plan(計画)、Do(実行)、Check(確認)、Action(行動)のサイクルを回していくことが重要であり、月例会議において事業計画に対する進捗状況を月次で確認し、今後の対策を協議・決定し実行して活動継続し、より一層レベルを高めていく。
- ②今年度より教職員の職務上の目標を設定し、達成状況を自己評価するための制度を整備し運用を開始しており、教職員の士気、能力の向上や学校組織の活性化等を目指す。
- ③校内全体に無線Wifiを導入し、会議・各種ミーティングの実施等により業務の効率化を図っている。

【特記事項】

・教育活動等の情報公開として、授業計画(シラバス)や3つのポリシー(卒業認定・教育課程編成・入学者受入れ)、成績管理等についてHP上に公開している。

(3)教育活動

回答者	評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
学校	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④ 3 2 1
学校	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④ 3 2 1
学校	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④ 3 2 1
学校	授業評価の実施・評価体制はあるか	④ 3 2 1
学校	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1
学校	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④ 3 2 1
学校	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4 ③ 2 1
学校	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	④ 3 2 1

【課題】

①全国の歯科衛生士養成校の中でも高い教育水準を誇る学校であり続けるための、教員の指導力向上

【今後の改善方策】

①知識・技術ともに最新の歯科医療に適応できる能力を身につけるため、教員研修会や専門分野の研修会に積極的に参加する。

①安定した高い国家試験合格率と関連資格の取得率を維持するため、各担当教員を明確にし、担当分野についての情報収集と学生へのフィードバックを徹底する。

【特記事項】

(4) 学修成果

回答者	評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
進路指導	就職率の向上が図られているか	④ 3 2 1
学校	資格取得率の向上が図られているか	④ 3 2 1
学校	退学率の低減が図られているか	4 ③ 2 1
学校	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 ③ 2 1
進路指導	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	④ 3 2 1

【課題】

- ①退学率の低減
- ②卒業生の活躍状況の把握

【今後の改善方策】

- ①退学率の年間実績2.5%程度を低減していくため、退学者を出さない教育を目指し、講師への授業内容評価のフィードバックと改善を徹底し学生にとって満足のいく授業を展開する。
また、学生の悩みや不安に対する早期フォローを徹底するため、各学年担任による学生状況(出席率・成績等)の把握と、学校カウンセリングとの協力体制を強化する。
- ②卒業生の活躍の状況を把握するためのツール(グループLINE、SNS)を作成し、卒業生の活躍を在校生の意欲向上や募集活動に活かす。

具体的に)

【特記事項】

- ・令和3年度は、第31回歯科衛生士国家試験において、受験した35名全員が合格した。(合格率100%)

(5) 学生支援

回答者	評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
進路指導	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
管理本部	学生相談に関する体制は整備されているか	④ 3 2 1
進路指導	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
管理本部	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4 ③ 2 1
管理本部	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
管理本部	学生の生活環境への支援は行われているか	4 ③ 2 1
学校	保護者と適切に連携しているか	④ 3 2 1
進路指導	卒業生への支援体制はあるか	④ 3 2 1
学校	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	④ 3 2 1
進路指導	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4 ③ 2 1

【課題】

- ①学生相談に対する支援体制の整備及び学園内共有や保護者との連携強化
- ②学生に対する経済的な支援体制の整備
- ③卒業生への支援体制の整備
- ④高専連携によるキャリア教育、職業教育の強化

【今後の改善方策】

- ①保護者との連携にも留意しながらキャリア教育・相談を実施するとともに、必要な情報は学内で共有する。共有に当たっては、心理的特徴や学習の傾向を図るツールの活用により個々人に合った指導方法など教員と適宜調整する。
- ②日本学生支援機構の奨学金をはじめ、遠隔地から就学する学生に対する「一人暮らし支援制度」、提携ローンの紹介等安心して就学できるように制度の周知を行う。
- ③キャリアセンターが相談窓口となり、卒業後のキャリア相談、万が一離職した場合は希望により就職斡旋を行う。
- ④高校生の段階から職業を意識してもらえよう、高校との連携授業を積極的に実施する。

【特記事項】

- ・令和2年度から実施された「高等教育の修学支援新制度」について、修学支援の対象機関となる専門学校として認定されている。
- ・学生全員の定期健康診断を毎年4月に実施し、学生の健康管理に努めている。また、臨床・臨地実習時には風疹・水疱・ムンプスの事前抗体価検査を追加実施している。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染予防対策については、3密の回避、手指消毒液の設置、黙食、来客への検温の実施等を徹底し、学生・教職員に対しては、県内の感染状況を踏まえ、適宜注意喚起を行っている。
- ・公認心理師によるカウンセリングルームを設置し、就職や日常生活の中での心配ごとや不安を解消できるよう取り組んでいる。

(6)教育環境

回答者	評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
学校	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	4	③	2	1
学校	学内外、実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④	3	2	1
管理本部	防災に対する体制は整備されているか	4	③	2	1

【課題】

- ①教育上必要な設備
- ②学生への防災や災害時の避難に関する意識付け

【今後の改善方策】

- ①最新の医療機器について、使用頻度の高いものは購入し実習に取り入れ、そうでないものは歯科医療機器メーカーによる器材持ち込みでの特別講義を実施している。歯科医療の進歩はめざましく、今後も継続して対応を強化していく。
- ②当法人が制定している「危機管理規定」「災害対策マニュアル」を教職員に対して周知徹底をはかるとともに、年1回行う避難訓練などを通じて防災への関心を高め、万一の場合に適切に行動できるよう指導していく。

【特記事項】

・南海トラフ地震等の大規模地震に備え、地震発生時の安全確保行動の確認や防災意識の向上を図るため、平成27年度よりシェイクアウト愛媛(県民総ぐるみ地震防災訓練)に参加している。今年も愛媛県の実施に合わせて学生全員が訓練に参加する予定。

(7) 学生の受入れ募集

回答者	評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
進路指導	学生募集活動は、適正に行われているか	4 (3) 2 1
進路指導	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	(4) 3 2 1
管理本部	学納金は妥当なものとなっているか	(4) 3 2 1

【課題】

- ① 高校訪問やガイダンスの実施、WebやSNSを活用した広報活動による認知度アップ
- ② 教育成果の正確な周知の実施

【今後の改善方策】

- ① 高校訪問やガイダンス等で学校の認知度向上に努める。また高校生に分かりやすいHPの設計や、学校案内パンフレットの作成、校名や学科名を認知してもらうための広報活動(TVCM、Web広告やSNS活用)を推進する。
- ② 教育成果は、学校案内パンフレットやHP、ガイダンス等を通じて情報提供を行う。

【特記事項】

(8)財務

回答者	評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
管理本部	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④ 3 2 1
管理本部	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④ 3 2 1
管理本部	財務について会計監査が適正に行われているか	④ 3 2 1
管理本部	財務情報公開の体制整備はできているか	④ 3 2 1

【課題】

①学生数の変化による収支の変動

【今後の改善方策】

①当法人の中期計画に基づき、単年度予算・収支計画を作成・実行している。少子化の影響等により学生総数が減少しているが、学校、学科の再編や募集活動の改革により学生の増加に繋げており、各部門の収入(学生募集)と支出(効率化等によるコスト削減)の管理を徹底することや、収益事業についても積極的に取り組むなど中・長期的な視野に立ち財務基盤の強化を図っていく。

【特記事項】

・会計監査については、公認会計士事務所による定期的なモニタリングや総合的な監査を計画的に実施しており、適正である旨の評価を得ている。
 ・貸借対照表・資金収支計算書・事業活動収支計算書、財産目録、事業報告書、監事監査報告書をホームページに公開している。

(9)法令等の遵守

回答者	評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
管理本部	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1
管理本部	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④ 3 2 1
管理本部	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4 ③ 2 1
管理本部	自己評価結果を公開しているか	④ 3 2 1

【課題】

- ①個人情報保護のための対策
- ②自己評価、学校関係者評価、第三者評価からなる学校評価の取り組み

【今後の改善方策】

- ①個人情報保護に関しては、「個人情報保護規程」により毎年個人情報管理台帳を整備し、個人データを適切に管理し運営しているが、技術の進化等に伴う情報機器の多様化・高度化への対応や、人的セキュリティの徹底などに積極的に取り組んでいく。
- ②学校関係者評価については、関連する企業の方、地域の方、卒業生、在校生の保護者などに委員として参画いただいております。委員会において発言された意見等を十分に踏まえて、カリキュラムの改定、教育活動の見直し、募集活動など質の向上に取り組んでいく。

【特記事項】

- ・情報セキュリティ向上のため、校務系システムと学習系システムを物理的に分離し、学生側から校務系データにアクセスできないよう対策を講じている。
- ・自己評価、学校関係者評価については、例年実施し、ホームページに公表している。

(10)社会貢献・地域貢献

回答者	評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
学校	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④ 3 2 1
学校	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	④ 3 2 1
学校	地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4 ③ 2 1

【課題】

①地域に対する公開講座や職業訓練の実施

【今後の改善方策】

①愛媛県歯科衛生士会と協力し、歯科衛生士の技術向上を図る研修会を1月に実施予定である。今後も実習設備を活用し、歯科衛生士のスキルアップへの協力体制を強化し地域貢献に繋げる。

【特記事項】

・コロナ禍でボランティア活動の機会が減っているが、例年様々なボランティア(赤い羽根共同募金、愛媛マラソン、介護施設での行事等)に参加している。